

グローバル 未来塾

in ひろしま



“Hiroshima for Global Peace” Plan

~Future Leaders' Program
for Global Peace~

研修だより

Vol.3 2018. 3. 29

修了証書授与式を行いました。(2月4日(日))

研修の全課程を修了したことを証して、大島塾長から修了生に一人ひとりに修了証書が授与されました。また、塾長挨拶で受講生へのメッセージを頂きました。



大島賢三塾長 挨拶



塾生の皆さん、無事修了されましたことをお祝い申し上げます。ここまで大変よく頑張られたと思います。塾長として、県をはじめ関わって頂いた皆様に心から感謝の意を申し述べます。

グローバル未来塾の目的として、平和都市広島という事実・体験を踏まえて、これからの将来を背負う若い皆さんがより深く学んで、何らかの形で将来にそれを生かしていく、平和都市・被爆都市広島の主張・考えをよく伝えていくということがあります。そのために、核兵器の問題、核軍縮、核不拡散の問題をしっかりと学ぶということが目的であります。去年、2017年は核兵器廃絶について大変意義深い年でした。核兵器禁止条約が国際社会で初めて成立しました。

それには長いキャンペーンが続けられていて、核兵器廃絶国際キャンペーンICANがノーベル平和賞を受賞しました。これは非常に画期的なことであります。オスロのノーベル平和賞授賞式では、サーロ節子さんが招かれてスピーチをしました。非常に簡潔に、力強く核兵器廃絶への思いを述べられました。サーロ節子さんが広島のメッセンジャーとして、非常にわかりやすく、力強い英語で広島のメッセージを出しておられます。核兵器が非人道的で決して許されるものではないというメッセージを出し続けるということが、平和都市・被爆都市広島の宿命だと思っています。若い人を含めてひとりでも多くの人が、よく問題を理解して、広島からメッセージを出し続けることが非常に重要だと思います。そういう気持ちで、グローバル未来塾inひろしまの重要なテーマの一つに据えられているという意味があります。

一方、核兵器禁止条約に対する日本政府の立場はなかなか納得のいかないものですが、私も日ごろ東京に住んでいて、また外務省出身の人間としての見地からいうと、現実に日本という国はロシアや中国など核兵器国に囲まれていて、加えて近年は北朝鮮の核兵器・ミサイルの開発もあります。日本の安全保障の観点で考えると核の抑止力について、やはり現実的な立場から考えて政策を打ち出していかなければいけないということは、私自身もよく理解できます。理解できるのでその辺をどう考えるか、バランスするという表現が適当かどうか分かりませんが、難しい問題です。



物事万事、この世の中のことはそう簡単にAかBかどちらかが絶対正しいということではなくて、AもBもそれぞれなんらかの立場からそれぞれ理屈がある。しかし、その中でどういうふうに整理をして立場を決めていくか、個人としてどういう立場を取るか、どういう考え方を取るか、これは別に核兵器の問題とか戦争の問題に限らず、皆さんが社会に出ていくと色々な場面で直面します。学校で教わったことがすべてではなくて、もっともっと経験をしていかなければならない、グローバル未来塾への参加はそういう機会を提供したという意味があったのではないかと思います。

受講生代表挨拶 (A I C J 高等学校 長尾紘之介さん)



「僕たちはまさに激動の中を生きているといっても過言ではありません。その中で僕たちが世界で生きていくにはどうすればよいのでしょうか？それは考え続けることだと僕は思います。世界の動向はたとえ専門家であっても正しく予想することができなくなっています。正しい答えを知る人がいないなかで、僕たちは正しい情報を選び抜き、自分たちでその意味を考え、世界がこのあとのように変わっていくのか「忖度」していかなければいけません。「グローバル未来塾in広島」は思考力の成長の大きな糧になりました。これからも僕たちは日本人としての誇りを持ちながら日本を、世界を支えることのできる人材になっていくことをここに誓います。」

研修成果発表会を行いました。(2月4日(日))

「グローバル未来塾inひろしま」では、研修最終日に研修成果発表会を開催し、受講生及び講師に加え、保護者、学校関係者等、約100名が参加しました。発表会では、受講生一人ひとりが、研修で学んだことや今後に生かしていきたいこと等について、英語で発表し、講師の先生方からコメントを頂きました。

主催者挨拶 (小寺洋 広島県地域政策局長)



塾生の皆さん、無事、修了されますこと誠にありがとうございます。また、実施にあたり、塾長の大島賢三大使をはじめ、多くの先生方から熱心な御指導を頂き、感謝申し上げます。

塾生の皆さんには、国際平和と英語学習という密度の濃い講義に、半年間にわたり、大変、熱心に取り組んでいただきました。昨年は、核兵器禁止条約の採択とICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)のノーベル平和賞受賞という、エポックメイキング(画期的)な出来事がありました。広島市出身の被爆者、サーオ節子さんは、ノーベル平和賞の授賞式で、「私たちは核兵器の時代を終わらせることができる」と訴えられました。塾生の皆さんにはこのように核兵器のない平和な社会を世界に訴えておられる被爆者の思いをしっかりと受け継ぎ、世界へ発信できる人材となられるよう今後も研鑽を積んで頂くことをお願いします。

受講生研修成果発表



【研修成果発表の要旨・抜粋(研修で学んだこと、将来生かしたいこと)】

- 私は研修を重ねていくにつれて、これまでにないほどの充実感を味わいました。それは、「国際平和への貢献」という共通の目的をもったみなさんと共に学ぶことができたからです。
- 私の将来の夢は農学者になり、開発途上国の支援にたずさわることです。この未来塾で経験し、学んだことはこの目標にむけた大きな第一歩だと確信しています。
- 将来私は、平和都市であるこの広島で外国人をサポートしていく職に就きたいです。
- 最初は自分自身の英語や意見に自信が持てなかったですが、プレゼンテーションを塾生や先生の前でやると自信を持てるようになったので達成感を感じています。

【講師コメント】

【国際平和総括(池田秀雄 広島大学名誉教授)】 今日には本当に私、感激しています。ほんとに皆さん英語が上手になりましたね。もうひとつ、今日は大変嬉しいことがありまして、昨年の未来塾受講生から、広島大学に進学が決まりましたという報告を受けました。今度始まる国際共生のコースだと聞いています。大学進学では東京や京都に出ていく人もいますが、また故郷に帰ってきて活躍してもらえればと思います。英語については、単語を全部きれいに発音しなくとも、意味ごとに聞き取れる発音であれば最初は構いません。わかってもらえる発音はだんだん練習してもらえればと思います。

【英語総括(三浦省五 広島大学名誉教授)】 国際化とグローバル化は違います。ルールがある国際化の時代ではなく、どこにいくのかわからないグローバルな時代は本当に大変です。自己をしっかりと持ってください。生まれてから大学院まで日本語で教育が受けられる日本は本当に幸せです。英語は早く話せばよいというものではなく、相手の気持ちを考えることが大切です。塾生の皆さん、プログラムが終わってしまうのは寂しいですが、今後、何か援助が必要なときはぜひ連絡ください。

【発行】グローバル未来塾inひろしま事務局

■ 〒730-8511 広島市中区基町10-52

広島県 地域政策局 平和推進プロジェクト・チーム

■ TEL : 082-513-2366(ダイヤルイン)

■ FAX:082-228-1614

■ E-mail: G-mirai@pref.hiroshima.jp